

学校行事が生徒の人格形成に及ぼす影響について

(1) 文化祭

筑波大学附属駒場中・高等学校 生徒部

岡崎 勝博・辻 弘・曾根 睦子・遠藤・正之
小澤 治夫・寺田 恵一・関口 隆一・加藤勇之助

学校行事が生徒の人格形成に及ぼす影響について

(1) 文化祭

筑波大学附属駒場中・高等学校 生徒部

岡崎 勝博・辻 弘・曾根 睦子・遠藤 正之
小澤 治夫・寺田 恵一・関口 隆一・加藤勇之助

第1章 調査の意図と対象者

1. はじめに

現在、学校教育は大きな曲がり角にきているといわれている。深刻化する非行や「いじめ」問題、不登校・登校拒否の増加、高校中退者の増加など偏差値教育による一元的能力主義による弊害がさまざまな問題を露呈させている。これらの対策として出されてきている高校教育の多様化問題や学校5日制の実施など教育改革が進められようとしているが、その効果や方向性はまだ見えない段階にあるといえよう。また、一方では学校の学習自体を変革しようと新学力観がうちだされ、旧来の能力主義的学力観と拮抗状態にあるといえよう。このようななかで、学校とは何か、どのような機能を有していくのかについて幅広く議論されているが、この議論なかに学校行事を含めた議論はまだ十分には展開されていない。学校文化をもっとも生徒に伝え得るもの、生徒の人格の形成にかなりの部分で影響を及ぼす学校行事に焦点を当てた調査が十分いなされていないからである。学校改革にあたり、教科での学習とともに学校行事がどのような機能を果たしてきたのか、また果たし得るのか議論していく必要がある。

2. 本研究の目的

本校では、「駒場水田」を利用した勤労体験学習、校外学習、音楽祭、スポーツ大会（通称『筑駒カップ』）、体育祭、文化祭、ロードレースなど、年間を通じてさまざまな学校行事が位置づけられており、またその取り組みは中・高6か年教育の中でも位置づけられている。

多くの生徒は教科の学習による「観」の形成とともに学校行事に参加する中で人格の形成（自分づくり）を行っている。しかしこれらの学校行事が生徒の自分づくりに影響を及ぼしていることは理解されるのであるが、それがどのような過程で、またどのように影響を及ぼしているのかについては十分に明らかにされていない。そこで本研究では、学校行事が生徒の人格の形成に及ぼしている影響を明らかにすることを目的とした。

3、調査方法、時期

各行事はそれぞれの性格を有し、したがって生徒への影響もそれぞれの行事において異なってくる。そこで今後1年間に渡り行事毎に生徒の意識と、そこでの経験を質問紙により調査するという方法をとった。なお、本調査の実施は、1995年（平成7年）の文化祭後11月中旬に行われた。

4、調査対象者

調査対象者は中学生男子359名、高校生男子451名、計810名を対象とした。

中学1年生 120名 高校1年生158名

中学2年生 120名 高校2年生154名

中学3年生 119名 高校3年生139名

第2章 対象者の特性

（1）文化祭への参加形態

本校では、文化祭が学校行事の中で最大の行事として位置づけられ、また生徒の方もこの行事に多大なエネルギーをかけている。多くのクラスでは、企画は1学期からクラス討議を経て立案され、具体的な準備作業は夏休みから始められている。高校3年生は、中高6か年の最後の行事として特に熱心に活動を行い、演劇などの団体では1年前からシナリオづくりが始められる団体もある。

参加形態は学級・HRが基本的な単位になっているが、高校3年生だけはHRを解体し4団体で編成されている。それは「ステージ班」「食品・縁日班」「喫茶班」「演劇班」で、それぞれの団体に担当が1人顧問として指導、監督にあたっている。

また、この形式以外にも「特別参加団体」（以下、特参とする）という形式で、文科系クラブ、同好会による参加も認められている。生徒にとっては、学級・HRでの参加だけでなくこのような形式での文化祭への参加を行っているものもある。

各学級・クラスでの「HRのみの参加」と「特別参加団体」へも参加している生徒の数は以下のようにになっている。各学年ともおよそ5割から6割の生徒が「特別参加団体」として文化祭に参加している。

表1.『参加形態』

（ ）内は%

参加形態	中1	中2	中3	高1	高2	高3
HRのみの参加	58 (48)	44 (37)	48 (40)	57 (36)	86 (56)	42 (30)
「特参」も参加	62 (52)	75 (63)	70 (59)	98 (62)	67 (44)	91 (66)
無回答	0	1 (1)	1 (1)	3 (2)	1 (1)	6 (5)
全 体	120	120	119	158	154	139

(2) 対象者の分類

今回の調査では、文化祭についての生徒の意見や考え方、また文化祭活動による人格形成への影響を検討するために生徒の類型化を行った。

類型化は、文化祭への参加意欲を横軸にとり、次に参加団体におけるその生徒の役割を縦軸にとって類型化を試みた。この関係を分類してみると次のようになる。

横軸：「あなたは、文化祭行事にどのように参加しましたか。」

[1] 積極的に参加していた [2] まあまあ積極的に参加していた [3] ふつう

[4] どちらかというと消極的な参加 [5] まったく消極的な参加

縦軸：「あなたは、クラスの活動においてどのような役割をはたしていましたか。」

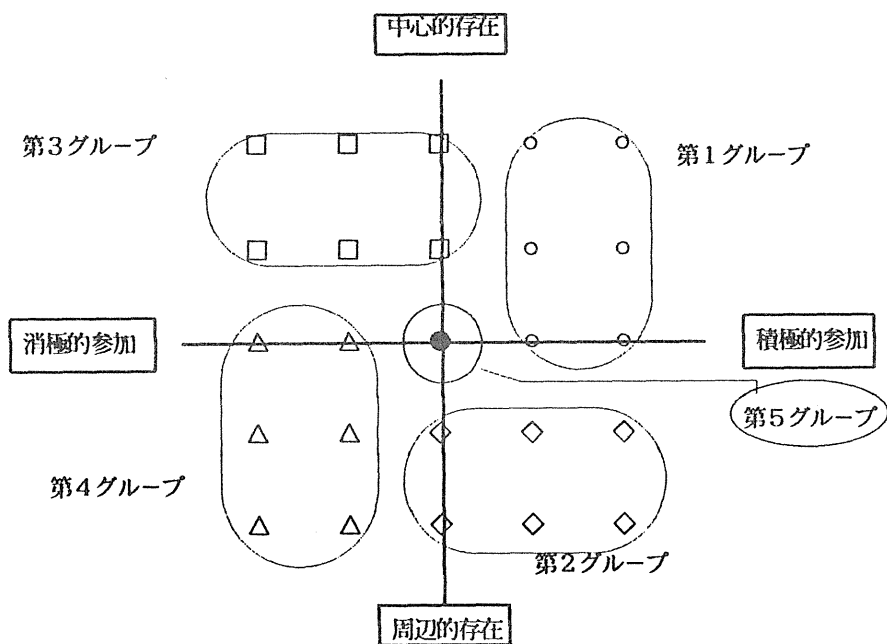
[1] 中心的存在 [2] 一緒に企画を進めている存在 [3] 与えられた仕事はこなす存在

[4] 仕事から逃げ回っている存在 [5] まったく文化祭にはかかわっていない存在

表2.『対象者の分類』

	横 軸	縦 軸
第1グループ ＜積極推進派＞	「積極的に参加している」 「まあまあ積極的に参加している」	「中心的存在」 「一緒に企画を進めている存在」 「与えられた仕事はこなす存在」
第2グループ ＜フォロアー＞	「積極的に参加している」 「まあまあ積極的に参加している」 「ふつう」	「仕事から逃げ回っている存在」 「まったく文化祭にはかかわっていない存在」
第3グループ ＜冷静派＞	「ふつう」 「どちらかというと消極的参加」 「まったく消極的な参加」	「中心的存在」 「一緒に企画を進めている存在」
第4グループ ＜消極逃避派＞	「どちらかというと消極的参加」 「まったく消極的な参加」	「与えられた仕事はこなす存在」 「仕事から逃げ回っている存在」 「まったく文化祭にはかかわっていない存在」
第5グループ ＜中間派＞	「ふつう」	「与えられた仕事はこなす存在」

図1. 文化祭への参加形態の類型化



(3) 学年ごとの類型化

図2. HR参加について

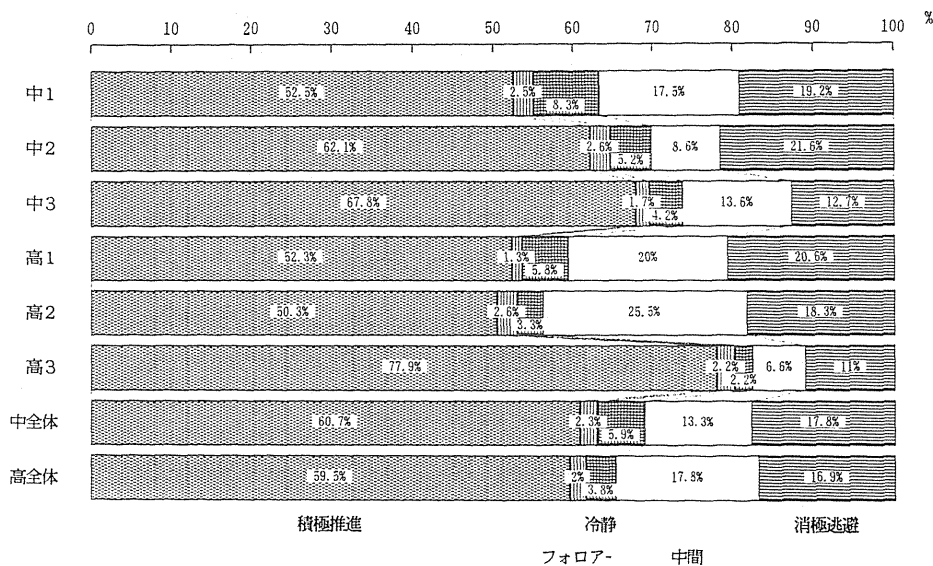
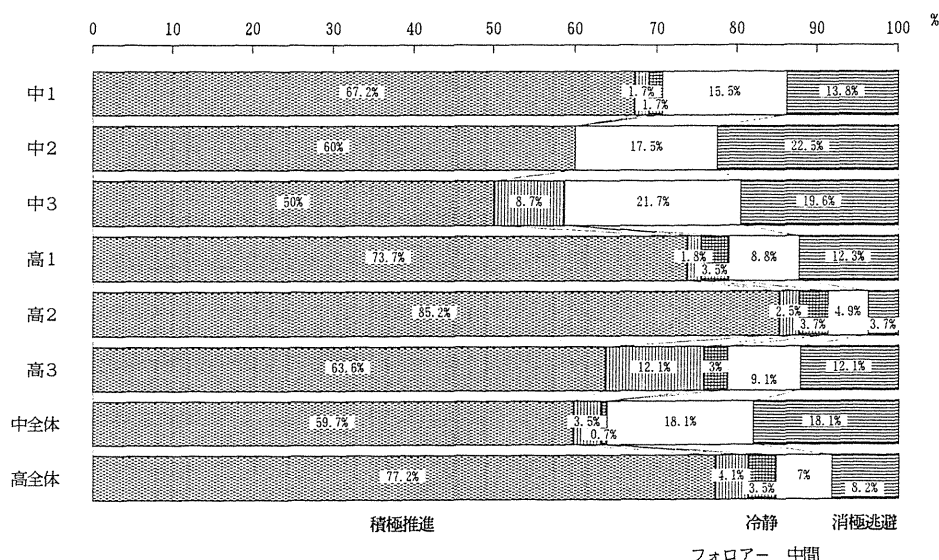


図. 3 特別参加団体への参加について



中学生の学級参加の類型化をみると、積極推進派は学年進行とともに増加して中学3年生で最も高い値を示している。反対に中間派と消極逃避派の推移をみると、中学1年生で両者の合計が高く、学年進行とともに減少している。

高校でのクラス参加の類型化をみると、積極推進派は高1、高2では全体の50%程度であるが、高校3年生では約78%と極めて高い数値が示されている。これは高校3年生が最終学年として文化祭をリードしていくことが学校の伝統として期待され、そしてそのことを強く意識していることの現れであろう。また、高校3年生の参加形態がクラスを解体して仲の良い友人同士で組織できることや企画内容が「お祭り広場班（縁日、食品）」、「ステージ班」「喫茶班」「演劇班」など、従来クラス参加ではできなかった内容ができること、しかもその規模が大きくなっていることなどが原因としてあげられる。

次に、中学生の特別参加団体としての参加についてみると、積極推進派は中学1年生で最も多く、学年進行とともに減少している。これは主に中学の特参が文科系クラブとしての参加形態が多く、学年進行とともに興味や意欲が減退することが原因ではないかと思われる。反対に高校では、高1より高2において積極推進派の割合が増加している。これは、文科系クラブとしての参加よりも同好会による劇団やバンド演奏団体としての参加により積極推進派が増加したことによると思われる。

第3章 積極派の参加理由と消極派の逃避理由

(1) 積極派の参加理由

①学級・HRでの積極的な参加理由

文化祭に「積極的に参加していた」「まあまあ積極的に参加していた」とする生徒は、どのような理由で参加していたのかを質問した。

選択肢は、「おもしろいから」「価値があると思うから」「作っていくときの喜びや充実感が得られるから」「うまくいったときの成功感が得られるから」「友人との交流が楽しいから」「普段の学校生活とは違う非日常的な体験ができるから」「自分の能力が発揮できるから」「文化祭では普段と違う自分が出せるから」「その他」となっており、該当するもの2つを選択することにした。

中学では、「作っていくときの喜びや充実感が得られる」「おもしろいから」という項目で高い値が示されている。生徒は準備作業での作業内容や友人との交流のなかで文化祭のおもしろさや楽しさ、そして充実感を味わっていると考えられる。

一方、文化祭の意味づけや価値については、「価値があると思うから」を選択する生徒が3年生で増加している。また、中学3年生に限ってみると「おもしろいから」を選択する人数よりも、むしろ「価値があると思うから」を選択する生徒の数が増えている。

この傾向は、中学1・2年生にはみられない。これは、中学1・2年時の企画が展示などによる参加形式が多く、価値観にふれるまでの活動をまだ十分行えていないのではないと思われる。一方、中学3年では生徒の興味や関心が広がり、演劇や映画づくりに取り組むようになる。これらの企画は展示と比較するとかなり作業を積み上げていかなければできない活動であり、そのため多くの仲間との協調や協力、葛藤などを強く感じることになり、価値観にふれるまでの活動内容になっていくものと思われる。もちろんそこには精神的な成長も影響しているといえよう。

また、演劇や映画は「うまくいった時の成功体験」がはっきり目に見える形で観客などから得ることができるので「うまくいったときの成功感が得られる」という項目が3年生で高い値を示している。

高校では、中学と同様に「作っていくときの喜びや充実感が得られる」「おもしろいから」という項目で高い値が示されている。

文化祭についての意味づけや価値については、高校1年生で最も低く、学年進行とともに増加し、高3で最も高くなっている。この傾向も高校生の精神的な成長が影響しているのではないかと考えられる。

「友人との交流が楽しいから」という項目では、他の学年と比較して高校1年生において高い値を示されている。これはその学年の特徴も考慮に入れなければならないが、高校になって新たな仲間が増えたこと（本校では高校時に1クラス分の生徒が新たに入学してくる）や高校生になり友人との交流が深まりつつあることを示しているのかもしれない。

図. 4 文化祭に積極的に参加する理由（中学・学級）

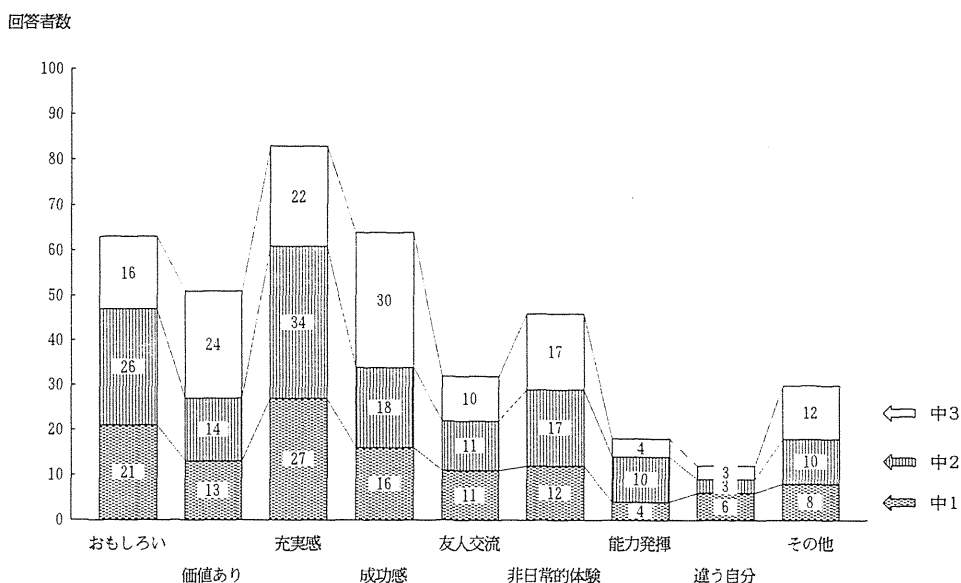
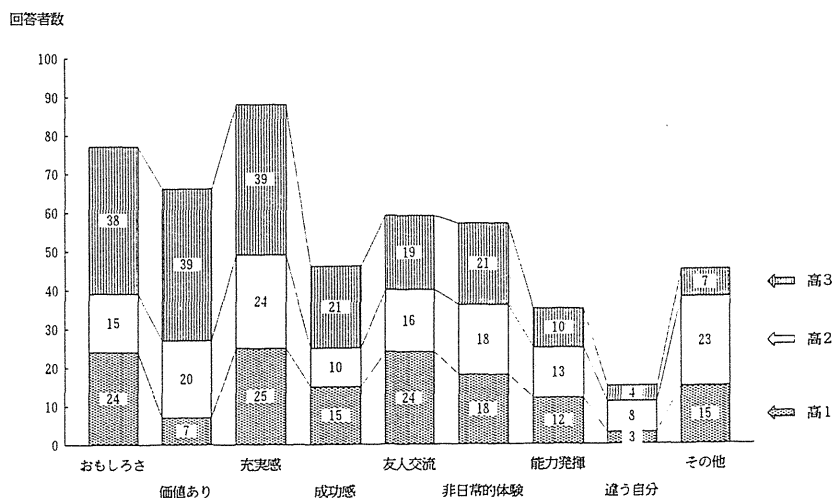


図. 5 文化祭に積極的に参加する理由（高校・HR）



②特別参加団体での積極的な参加理由

選択肢は学級・HRと同じ内容で、「おもしろいから」「価値があると思うから」「作っていくときの喜びや充実感が得られるから」「うまくいったときの成功感が得られるから」「友人との交流が楽しいから」「普段の学校生活とは違う非日常的な体験ができるから」「自分の能力が発揮できるから」「文化祭では普段と違う自分が出せるから」「その他」となっており、該当するもの2つを選択することにした。

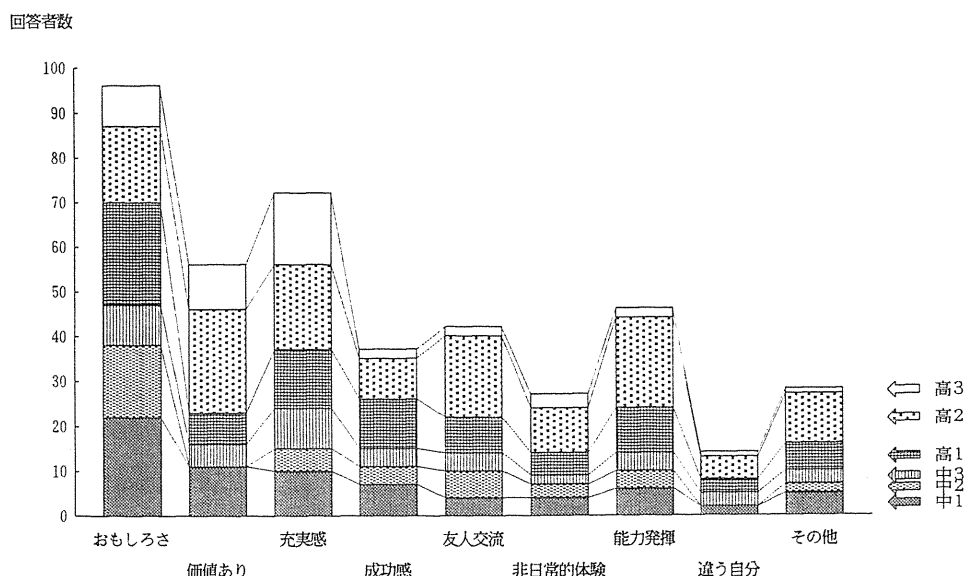
特参での活動に積極的に参加した生徒の参加理由は、図6のようにになっている。全体的に見ると、学級やHR参加の理由と同じく「おもしろいから」や「作っていく時の喜びや充実感が得ら

れる」という項目で高い値が示されている。

高校2年生では「価値があるから」とするものが最も多く、文化祭への意味付けがなされてきていると思われる。その他高校2年生では、「自分の能力が発揮できるから」や「友人との交流が楽しいから」でも高い値が示されている。高校生活の中で友人との交流も深まり、また興味や関心が広がってきている様子が伺われる。

この傾向は先にもふれたように、高2の特参が同好会によるバンド演奏や演劇としての参加が多くなり、「能力の発揮」や「友人との交流」の機会が増え、そのことを通じて文化祭の価値付けや意味付けがなされていると考えられる。

図. 6 文化祭に積極的に参加する理由（特参）



（2）消極的な参加の理由（学級・HR）

文化祭への参加の態度を尋ねた質問で、「どちらかというと消極的な参加」「まったく消極的な参加」を選択した者の理由を質問した。選択肢は表4の項目に示されており、その中から2つ選択させた。

表 3. 消極的参加の理由

* 中全－中学生全体、高全－高校生全体

項 目	中 1	中 2	中 3	中全	高 1	高 2	高 3	高全
内容がつまらない	5	2	4	11	9	12	4	25
価値がないと思うから	1		1	2	5	4	6	15
疲れるだけだから	2	1		3	1	3	5	9
なんとなくやる気がしない	9	8	9	26	19	11	5	35
思い通りのことができない	3	3	3	9	4	3	2	9
失敗ばかりしてきたから	1			1	1			1
友人との交流がわずらわしい			1	1	1			1
一緒に楽しめる仲間がいない					3	1	1	5
塾での勉強が遅れるから			1	1	2	2	1	5
その他	12	9	9	30	20	24	3	47
回答数	33	23	28	84	65	60	27	152
回答者数(人数)	21	10	16	47	35	41	8	84

全体的に中・高とも同じような傾向を示しており、「なんとなくやる気がしない」「内容がつまらないから」を選択する生徒が多い。これは消極的な参加理由が2極に別れていると考えられる。

「なんとなくやる気がしない」という生徒に「疲れるだけだから」を選択した生徒の回答数を合わせると、中学の全体では29（総回答数の約35%）、高校全体では44（総回答数の約29%）とかなり多くの生徒が選択している。これらの生徒の消極的参加の主な理由は、意欲の低下や倦怠感にあるといえよう。

一方、「内容がつまらないから」と「思い通りのことができない」を選択した生徒の回答数を合わせると、中学全体で20（総回答数の約24%）、高校全体では34（総回答数の約22%）となっている。「なんとなくやる気がしない」を選択する生徒が、消極的参加理由の生徒の何%にあたるのかをみると各学年の値は表4のようになる。

表. 4 「なんとなくやる気がしない」生徒の率

() 母集団人数

中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3
43% (21人)	80% (10人)	56% (16人)	54% (35人)	27% (41人)	62% (8人)

最後に質問項目に関して言うと、各学年とも「その他」を選択する生徒が多いことより、今回の質問項目では消極的な参加者の参加理由を十分に拾える調査にはなっていない面もあることを指摘しておきたい。

第4章 文化祭活動が生徒の人格形成に及ぼす影響について

(1) 文化祭活動による体験

本校の文化祭は、年度当初より文化祭実行委員やクラス企画の推進委員（通称デコ責という）が1学期より選出され、各学級・クラスの企画案は1学期よりクラス討議にかけられ決定されていく。企画を決定するクラス討議はかなり活発に行われ、準備作業は企画内容によって異なってくるが、取り組みが早い学級やクラスでは1学期後半から夏休みにかけて作業が開始され、11月の初旬まで続けられる。さらに文化祭前10日間は特別残留期間として中学は午後6:30まで、高校は7:30まで作業が続けられる。

文化祭は、このように非常に長い期間かけて取り組まれ、生徒にとってもかなり多くのエネルギーを注ぐ活動である。したがってその間に生徒達は様々な体験することになる。

ここでは生徒たちが文化祭の活動に際して、その準備期間も含めて様々な体験から何を感じ取ったのかを尋ねた。

①文化祭に対する満足度

まず、図7では今回の文化祭に対する満足度を尋ねている。この結果は、本校の文化祭の特徴を非常によく現している。

まず全体的に見ると非常に多くの生徒が文化祭に満足しているといえよう。「とても満足している」と「わりと満足している」を合わせると各学年5割以上になり、高校3年生いたっては86.4%もの生徒が満足していると答えている。

縦断的に見ていくと、中1から高2まで順に満足度が低下している様子がよくわかる。ただしその低下の様相は一樣ではなく、ある区切りをもって現れている。

第1グループ・・・中1，中2

第2グループ・・・中3，高1

第3グループ・・・高2

第1グループの中1と中2では「とても満足」と「わりと満足」を合わせた割合にはあまり変化はみられない。しかしその内訳をみると、中2は中1と比較して「とても満足」が低下し「わりと満足」を選択する生徒が増えていことがわかる。また、中1ではまったく選択されなかった「かなり不満」が2年生では5人（4%）とわずかに生じている。これも中1との比較で仮定してみると、中1のときに「やや不満」としていた生徒が「かなり不満」へ移行したとも考えられる。

第2グループでは、第1グループよりも「どちらともいえない」「やや不満」とする生徒が増えている。しかしこの不満の現れは、けっして否定的のとらえる必要もないと考えている。おそらくこの傾向は、生徒の成長にともない興味や関心の対象が広がり、やりたいことが多様化しているからではないかと思われる。

第3グループは高校2年生で、不満足の度合いがさらに高まっていることがわかる。

②満足度の理由

図8は、「とても満足した」「わりと満足した」を選択した生徒の満足度の理由を尋ねている。このことは裏返せば、彼らが文化祭において体験したことへの満足感の現れでもある。選択肢は、「仲間と協力して仕事をすることができた」「自分の持ち味が出せたこと」「自分の好きなことができたこと」「仲間との交流が深まったこと」「仲間から信頼を得られたと思うこと」「クラスのまとまりを感じることができたこと（高3は班または学年）」「他の学年やクラスの取り組みが見れたこと（図8では『参考』とした）」「先輩や後輩と一緒に活動ができたこと」「学校の自由な雰囲気が感じ取れたこと」「その他」からなり、該当するものすべてを選択させた。

図7. 文化祭への満足度

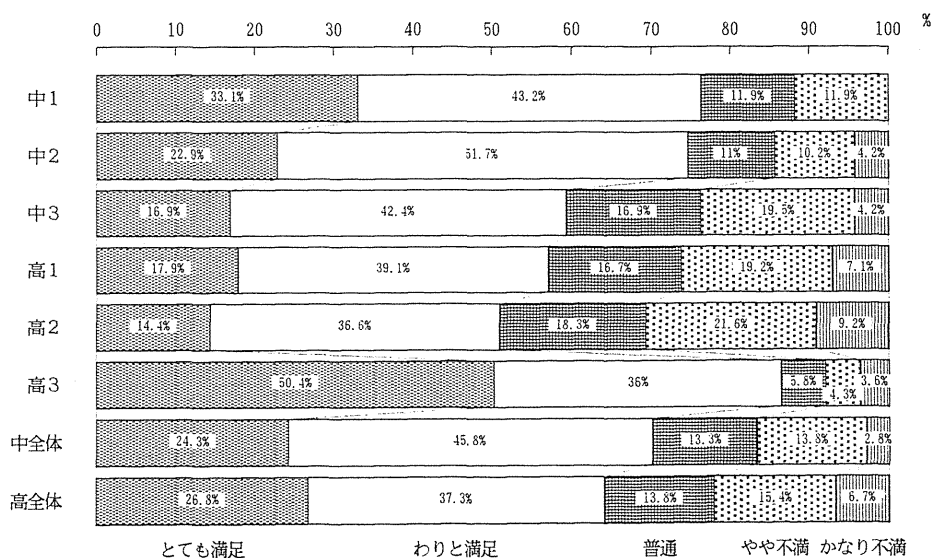
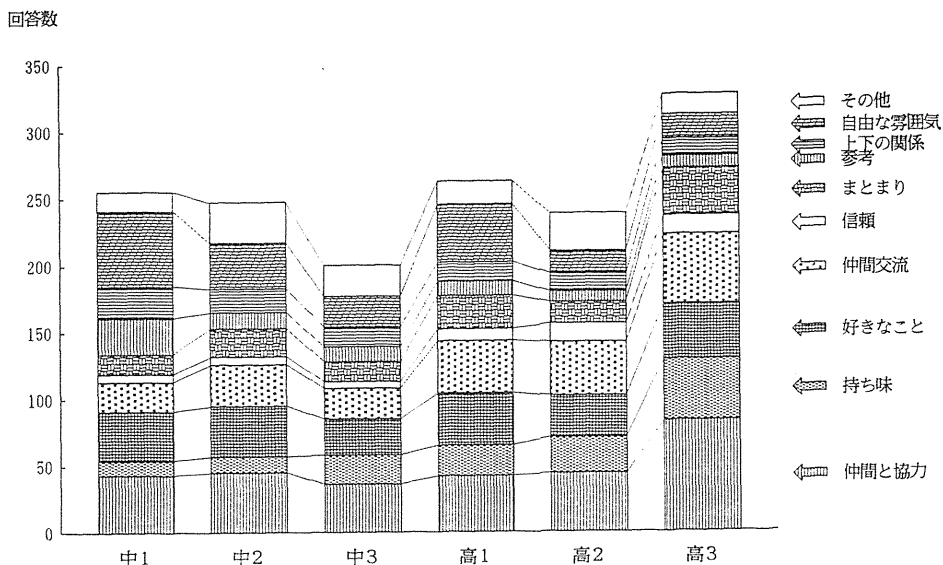


図. 8 満足度の理由



各学年とも「仲間と協力して仕事をする事ができた」という項目を選択する生徒が多く、文化祭が仲間づくりに非常に有効に働いていることがわかる。特に高校3年生ではその値が非常に高くなっている。

中1・高1の特徴としては、「学校の自由な雰囲気が感じ取られたこと」を選択する生徒が多く、入学当初に本校のもついわゆる「自由闊達」の精神を感じ取り学んでいる様子が伺える。また、特に中1では「他の学年やクラスの取り組みが見られる」という項目が高くなっており、初めての文化祭で上級学年のレベルの高い活動内容を見て満足しているものと思われる。

高校3年生は、多くの項目において他の学年の支持数を上回っているが、特に「仲間との協力」「自分の持ち味が出せた」「クラスのまとまりを感じることができた」という項目で支持数が増加している。「自分の好きなことができた」という項目がそれほど増加していないことより、やはり友人との交流の中での満足感が大きく影響しているものと思われる。

③グループ別にみた満足度

5グループと満足度の関係をみると、積極推進派では「とても満足」と「わりと満足」を合わせると中高とも70%以上の生徒が満足していると答えている。

消極逃避派は、中高ともに「どちらともいえない」を挟んで満足派と不満足派に分極している。これは消極逃避派が、「なんとなくやる気がしない」という理由で消極的参加を行っている者と、

「内容がつまらないから」「自分の思い通りにできないから」という理由で消極的な参加になっているものと構成されているからと考えられる。ただここでは、内容に不満な者が「不満」としているのか、それとも「やる気のない者」が「不満」としているのかは判別できない。

表. 5 5類型と満足度（中学校）

	とても満足	わりと満足	どちらとも	やや不満	かなり不満	回答数
積極推進	49	(74%) 108	27	25	3	212
フォロアー	2	1		2	2	7
冷静派	6	12	1	2		21
中間派	15	22	12	10	3	47
消極逃避派	(13	16)	6	(10	2)	62

表. 6 5類型と満足度（高校）

	とても満足	わりと満足	どちらとも	やや不満	かなり不満	回答数
積極推進	93	(71%) 94	27	37	11	262
フォロアー	1	5	1		2	9
冷静派	1	8	4	3	1	17
中間派	9	35	14	12	5	75
消極逃避派	(12	24)	15	(17	11)	79

④不満足の理由

文化祭に対して「やや不満」「かなり不満」とした生徒が、どのような理由で選択したのかを質問している。

選択肢は、1 - 「自分の好きなことができなかった」、2 - 「自分の能力があまり発揮できなかった」、3 - 「仲間との関係がうまくいかなかった」、4 - 「信頼できる仲間が少なかった」、5 - 「クラスみんながまとまらなかった」、6 - 「いやな仕事を押しつけられたから」、7 - 「どのデコも内容がつまらなかったから」、8 - 「準備に時間と労力がかかって疲れたから」、9 - 「最初からやりたくなかったから」、10 - 「その他」で、該当するものすべてを選択させた。

不満足の理由としては、どの学年も「自分の好きなことができなかった」「自分の能力が発揮できなかった」という項目が高くなっている。高校1年生では、「クラスみんながまとまらな

かった」からとする生徒が多くなっている。

なお、高1・2年生では「その他」をあげる生徒が多く、この選択肢では十分に対応し切れていないことを指摘しておく。

表7. 不満足とした者の理由回

回答数

選 択 肢	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3
好きなことができなかった	* 5	* 11	* 12	16	* 19	* 6
能力があまり発揮できなかった	* 5	8	8	11	12	3
仲間との関係がうまくいかない	2	2	5	4	8	* 6
信頼できる仲間が少なかった	2	3	4	5	7	3
クラスみんながまとまらない	* 5	7	5	* 17	8	
いやな仕事を押しつけられた		2	3	3	4	1
どのデコも内容がつまらない	1	1	6	4	9	
時間と労力がかかり疲れた		2	6	8	6	1
最初からやりたくなかったから		1	5	5	2	
その他	3	6	8	17	22	1
回 答 数	23	43	62	90	97	21
回 答 者 数 (人数)	14	17	28	41	47	11

*・・・「その他」以外で最も多い数

(2) 文化祭活動と人格形成

①文化祭が『自分づくり』に与える影響

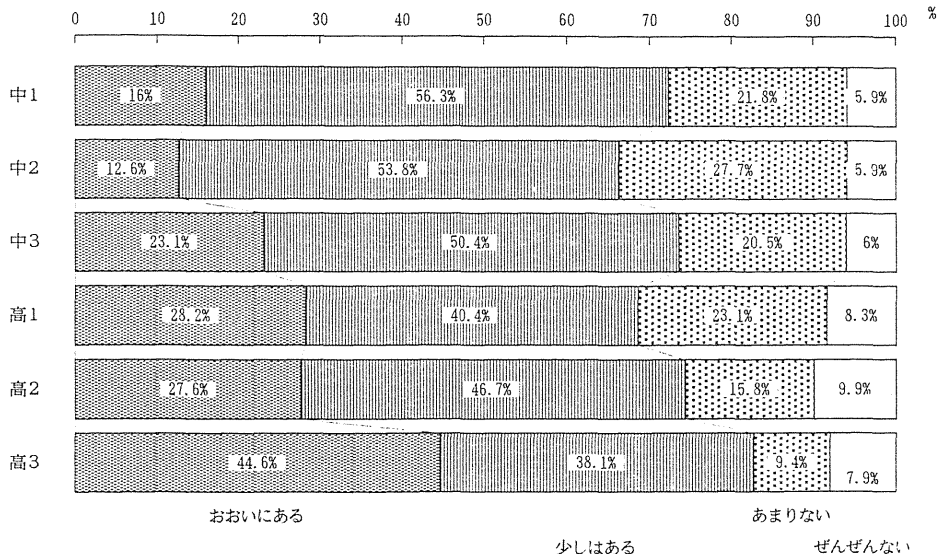
多くの生徒は、文化祭の活動に参加する中で様々なことを感じ取り、また教科では得られないことを学び取っている。

文化祭活動が自分の人格形成（自分づくり）とかかわっているととらえている生徒は多く、「文化祭行事に参加するなかで自分の人格形成のうえで役立ったことがありますか」という質問に対して、「おおいにある」「少しある」と答えた生徒はどの学年においても60%以上もしていることがわかった。特に高校3年生では、両方合わせると83%の生徒が「自分づくり」に影響していると答えている。

「おおいにある」と答えた生徒を縦断的にみていくと、中学1・2年から中学3年にかけて一つの飛躍があり、さらに中学3年生から高校1年・2年にかけてもう一段階段があることが示されている。そして最後に高校3年生で大きく飛躍し、45%という約半数の生徒が文化祭が「自分づくり」に「おおい」に影響を及ぼしたと答えている。

これらの変化は、先にもふれたように生徒の成長の度合いや友人関係の深まりのなかで変化してきたものと考えられる。

図 8. 文化祭と人格の形成



②グループ別にみた人格への影響

グループ別にみていくと、中学では積極推進派の74%の生徒が「おおいにある」「少しはある」と答えており、高校では83%の生徒が文化祭が人格形成とかかわっていると答えている。

フォロアーの特徴をみると、中高ともに人格への影響があると答えている生徒の割合は少ない。これは文化祭において人格とかかわるような経験がなかった結果として表れた数値か、それともともと文化祭への意味や価値づけが低い生徒の特性なのか、今後分析していく必要がある。

中学の冷静派では、「おおいにある」とする生徒がなく、「少しはある」という生徒が81%にもなっている。冷静派の冷静派所以であろうか。

中間派と消極逃避派を比べると、「おおいにあり」と「少しはある」の合計の比率はほぼ同じ結果となっている。中学についてみると、「おおいにある」とする生徒の割合は中間派よりもむしろ消極逃避派の方が多くなっている。高校の消極逃避派では、「おおいにある」とする生徒の割合と「ぜんぜんない」とする生徒の割合がほぼ同じとなり、2極に別れているようすがわかる。

これは先にも述べたように、消極逃避の理由が内容や取り組みに対する不満から生じているものと、やる気がない意欲の低い生徒から構成されているからであろう。

図. 10 グループ別にみた人格への影響（中学）

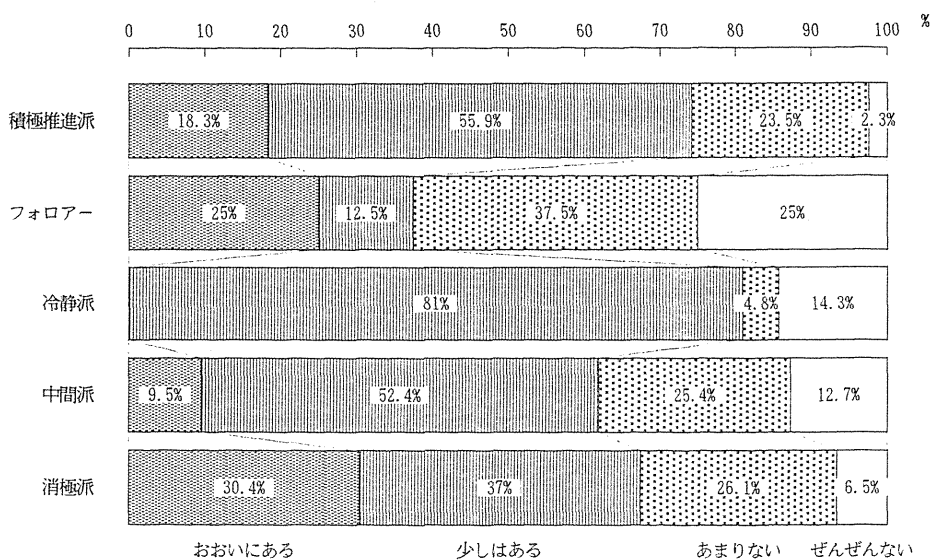
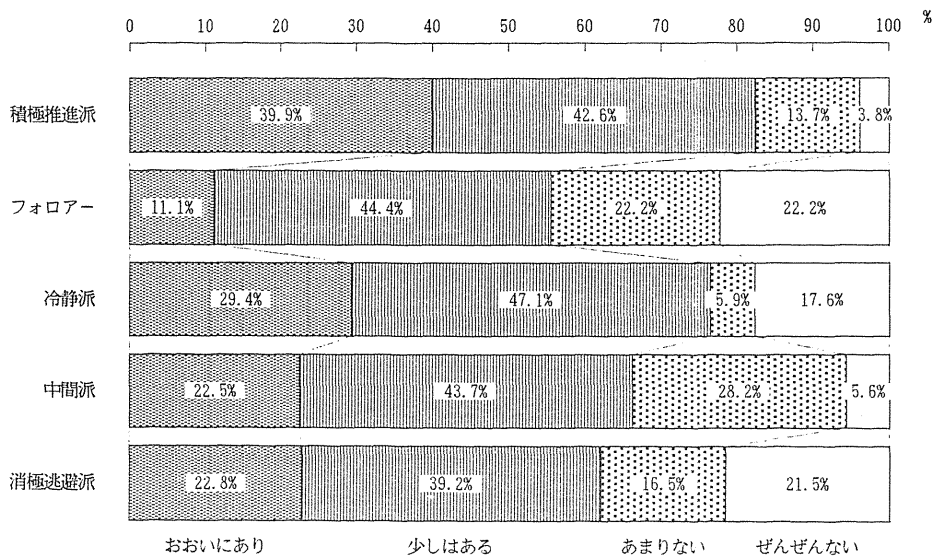


図. 11 グループ別にみた人格への影響（高校）



③人格形成の内容

文化祭が人格形成に影響していると答えた生徒について、それはどのような内容なのか質問している。ここでの選択肢は、1 - 「計画性」、2 - 「説得力」、3 - 「企画力」、4 - 「創造力」、5 - 「忍耐力」、6 - 「責任感」、7 - 「人をまとめていくこと」(図ではリーダーシップとした)、8 - 「やり抜く力」、9 - 「人の意見を聞くこと」(図では調整力とした)、10 - 「その他」で構成され、該当するものすべてをあげさせた。なお、中学と高校では母集団に違いがある。

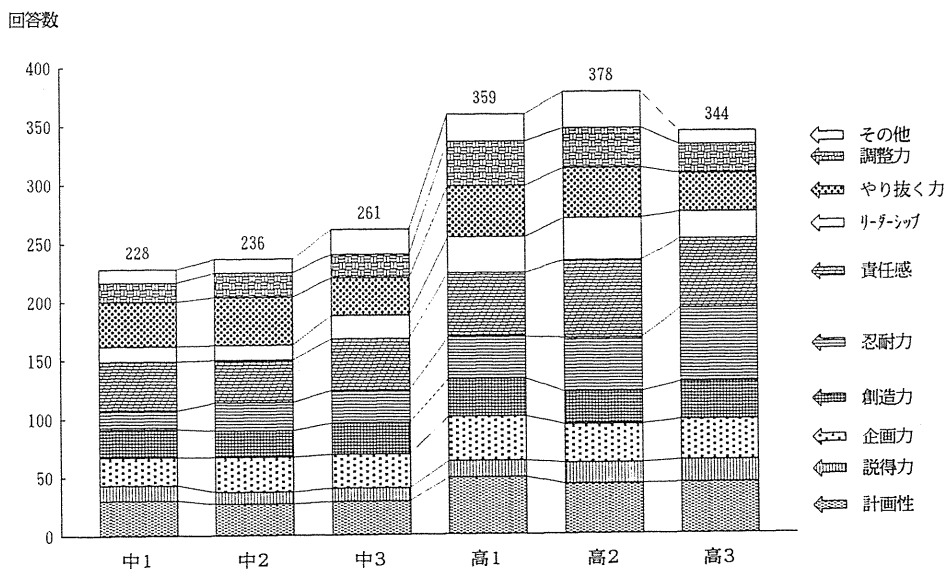
図12では、中学1年から高校2年まではどの学年も「責任感」を第1位にあげている。高校3年生では「忍耐力」が第1位となり、「責任感」は2位となっている。

生徒は、仲間との共同作業の中で、協力したり反発したりしながら自分に与えられた仕事を責任をもって「やり抜いて」いくというところに、最も人格への影響が大きいとみていることが示されている。「忍耐力」や「責任感」「やり抜く力」が非常に多くの生徒に支持されている。

次にこれらの能力以外で人格に影響したと答えられた項目は、「計画性」「企画力」となっている。文化祭準備の取り組み期間が非常に長く、また内容のレベル高さも要求されるところからくるものと考えられる。このことより、生徒の人格の形成においても行事への取り組み時間とレベルの高さを維持させることは非常に重要な要素であることが理解される。

そしてそのベースになるのが伝統といわれる学校文化ではないかと思われる。本校の文化祭が彼らにそのように思わせる内容や伝統の中での倫理観(生徒文化あるいは学校文化、例えば「先輩達もこれくらいのことはやりとげた」「このような企画ではみんなに笑われる」あるいは「賞がとれない」など)をもっているからではないかと考えられる。

図.11 人格への影響の内容



④グループ別にみた人格形成の内容

グループ別にみると、積極推進派では中・高ともに「責任感」「忍耐力」「やり抜く力」をあげる生徒が多い。

冷静派は母集団の数が少ないが、中・高ともに「計画性」をあげる生徒がグループ内で1位となっている。これはこのグループが学級やクラスで中心的に活動を推進させている存在であるところからくる特性ではないかと思われる。

高校の消極逃避派は、「人をまとめていくこと」や「人の意見を聞くこと」をあげる生徒も多くいる。本来これらの能力はリーダーシップを発揮する場面で要求される能力なので、それが消極逃避派の生徒に支持されていることは理解に苦しむところがある。ひとつの仮説として、この現れは本来意欲があり企画行事に取り組みたいのであるが、内容がつまらないので意欲が湧かず、参加態度としては消極逃避派に分類されたが、実際の場面では意外と小グループなどでの中心的存在になっているのかもしれない。

表8. グループ別にみた人格形成の内容（中学）

回答数

選択肢	積極推進	フォロアー	冷静	中間	消極逃避
計画性	52	2	* 9	9	13
説得力	22	1	3	4	3
企画力	51	2	4	13	10
創造力	50	2	4	10	7
忍耐力	41	1	4	10	10
責任感	* 83	* 3	6	10	* 19
人をまとめていくこと	30	2	1	5	7
やり抜く力	68	2	7	* 16	16
人の意見を聞くこと	37	1	4	9	5
その他	20	1	6	12	5

*・・・グループ内で最も多い数

表9 グループ別にみた人格形成の内容（高校）

回答数

回答数

選択肢	積極推進	フォロアー	冷静	中間	消極逃避
計画性	87	* 3	* 7	14	24
説得力	34	* 3	2	5	6
企画力	73	2	5	10	14
創造力	69	1	1	10	10
忍耐力	98	2	5	18	20
責任感	* 125	* 3	4	* 22	* 25
人をまとめていくこと	57	2	1	11	17
やり抜く力	84	* 3	6	10	16
人の意見を聞くこと	68	1	3	9	14
その他	34		2	16	12

*・・・グループ内で最も多い数

(3) 文化祭での友人との交流について

文化祭が人格の形成に影響を与えていると多くの生徒は回答している。それは文化祭の企画内容を達成するために要求される能力であったり、作業を進めていく時に要求される能力であったりするわけであるが、それらの能力は仲間集団での議論や協同作業のなかで学ばれていくのである。

生徒は仲間集団の議論のなかで自己主張したり、相手の意見に自分をあわせたりしている。その時には人との摩擦も大きくなり気まずい思いもすることがあろう。そしてそれをどのように調整乗り越えていくのかということからも多くのことを学んでいる。

また、集団での協同作業では、責任感や仕事をやり抜く力が要求される。しかしその厳しさの反面、多くの生徒たちは仲間集団での協同作業を通して連帯感や充実感を感じ取り、それが文化祭の楽しさを支える大きな要因ともなっている。

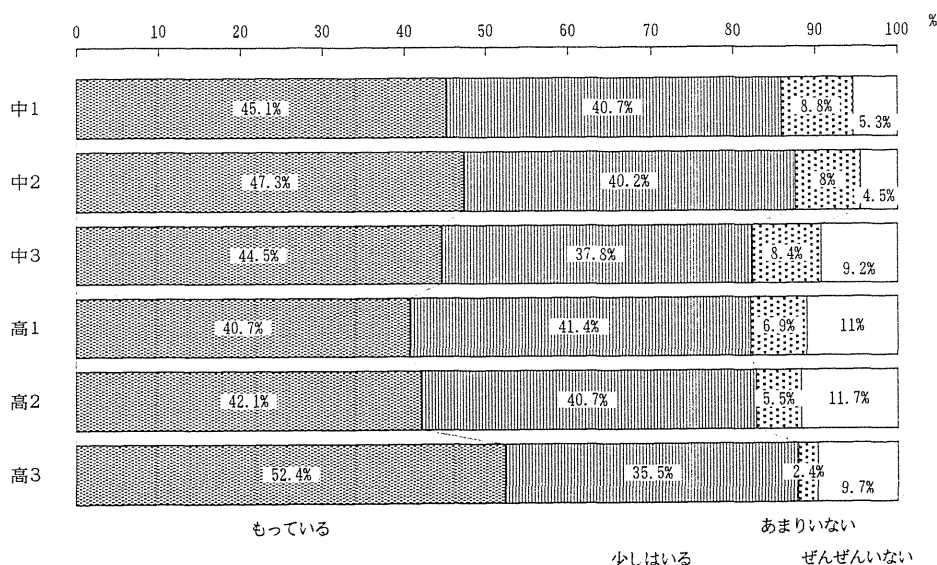
ここでは、生徒たちが仲間集団の中で何を感じ、何を学んでいるのかを分析した。

① 普段の友人関係

まず、「普段から本音でつき合える友人をもっている」かどうかを尋ねた質問で「もっている」「少しはある」とする者は、各学年とも回答者数のおよそ80%になっている。

一方、「あまりいない」「ぜんぜんいない」とする生徒は、中学で各学年とも12～13%、高校では高1・2年が16%ほどに存在し、高校3年生では11%の者が「いない」と回答している。これらの「いない」という回答を多いと判断するか、少ないと判断するかは意見が分かれるが、ただ質問項目で「少し」「あまり」という表現を用いたため、回答者の方でこれが友人の量を尋いているのか、それとも親密さの質を尋いているのか解釈の違いが現れていると考えられる。

図13. 普段から本音でつき合える友人



グループ別にみていくと、中間派で「もっている」から「少しもっている」にピークが移行している。これを友人の数という量の問題でとらえると、さして問題とはならないが、親密さの希薄性という質の問題ととらえると中間派の特徴が現れてくる。高校の中間派と消極逃避派において、「ぜんぜんいない」とする者が11人、14人と比較的多く存在している。

表. 10グループ別にみた本音の友人

人数

	中学				高校			
	いる	少しは	あまり	ぜんぜん	いる	少しは	あまり	ぜんぜん
積極推進	94	85	17	8	124	92	12	15
フォローア	2	2		2	3	4	1	1
冷静	10	7	1	2	4	7		4
中間	24	26	7	3	25	30	2	11
消極逃避	25	13	4	2	28	27	6	14

②文化祭での友人関係

次に、「文化祭は、友人をよく知るよい機会」かどうかを尋ねる質問では、「そう思う」「少し思う」とする生徒が非常に多く74%～91%の値を示している。

学年を縦断的にみていくと、中学1年生では「そう思う」「少し思う」を合わせると86%もの生徒が友人をよく知るよい機会だととらえている。文化祭が友人関係を深めるよい機会になっていることが理解される。

その後、中学2年から3年にかけてその率は低下していく。この傾向は当然のことで、友人との交流期間が長くなれば、ことさら文化祭での友人関係だけを特別な機会だとはとらえなくなるといえよう。

そして高校1年生から2年生にかけて再び「友人をよく知れる機会」であるにとらえてくる。そして高校3年生では実に91%もの生徒が「友人をよく知れる機会」だととらえている。これは成長とともに今までの友人との交流から脱皮し、新たに関係を築きなおしていく過程を示しているのではないかと思われる。

グループ別にみると、どのグループにおいても70%以上の生徒が「文化祭は、友人をよく知る機会だと」ととらえていることがわかる。

積極推進派においては中学で81%以上、高校では90%以上の生徒が「そう思う」「少し思う」と回答している。

中間派と消極逃避派では、中・高ともに「あまり思わない」「ぜんぜん思わない」の比率が若干高くなっている。

図. 14 文化祭での友人関係

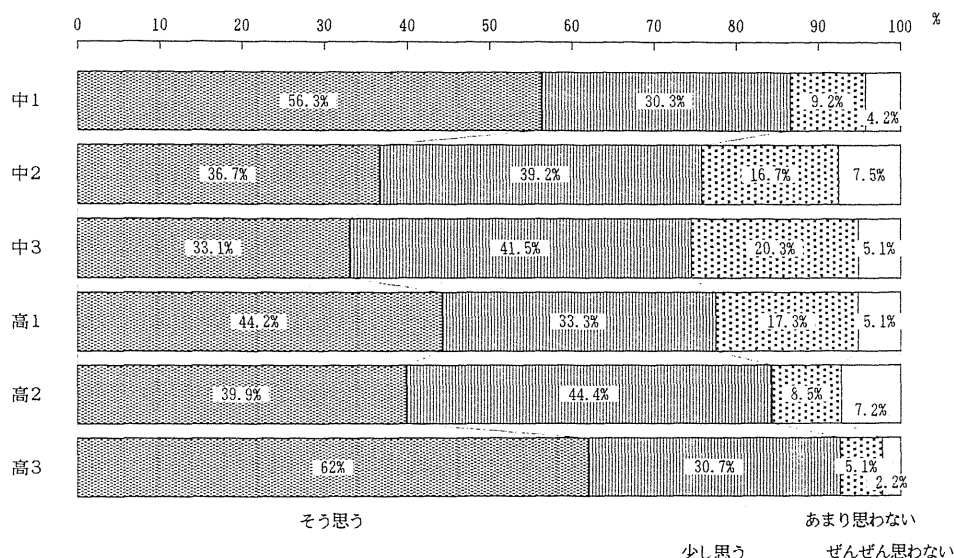


表. 11 グループ別にみた文化祭での友人関係

人数

	中学				高校			
	いる	少しは	あまり	ぜんぜん	いる	少しは	あまり	ぜんぜん
積極推進	93 (81%)	80	31 (19%)	9	144 (90%)	93	18 (10%)	8
フォローア	3	3	1	1	3	3	2	1
冷静	9	8	3	1	10	4	1	1
中間	24 (73%)	22	12 (27%)	5	27 (82%)	34	9 (18%)	4
消極逃避	20 (74%)	15	8 (26%)	4	28 (70%)	27	16 (30%)	8

* () 内の%は、グループ内における両サイドの人数を合計したときの比率

③文化祭での友人関係の内容

次に文化祭での友人との交流の内容について質問している。選択肢は以下の項目。

<図中の項目名>

- | | |
|---------------------------|-------|
| 1 - 「いろんな人につき合えるのがよい」 | いろんな人 |
| 2 - 「日常より親密につき合えるのがよい」 | 親密 |
| 3 - 「仲間での話し合いで感化されることが多い」 | 感化 |
| 4 - 「仲間との連帯感が得られるのがよい」 | 連帯感 |

5 - 「普段思っている意見や悩みを話すことができるのがよい」	悩みを話す
6 - 「普段のつき合いとあまり変わらない」	変化なし
7 - 「人のエゴがよくわかる」	エゴ
8 - 「自分と気が合う人と合わない人がよくわかる」	相性
9 - 「信頼できる人は誰だかよくわかる」	信頼

10-「その他」 *これらの選択肢から該当するものすべてを選ばせた。

全体では、「いろいろな人とのつき合い」「連帯感が生まれる」「信頼できる人は誰だかよくわかる」などの項目で高い値が示されている。学校生活の中ですれ違いや偏りが多い人間関係が、文化祭での活動を通じて解消されているようすがうかがえる。これは、どの学年においても「普段のつき合いとあまり変わらない」という項目の値が非常に低くなっていることから理解される。

「人のエゴがよくわかる」という項目についてみると、中学1年時より学年の進行とともに増えて、高校2年生でピークに達している。高校2年生では「エゴ」の選択も多いが、一方では「信頼できる人が誰かわかる」という項目でも他の学年と比べてもっとも多く生徒が選択している。

高校3年生では「信頼」項目はむしろ減少し、「いろいろな人とつき合えるのがよい」を選択する生徒が最も多くなっている。これは高校2年までのゴタゴタした人間関係を少し突き抜け落ち着いてきたことと、HR解体による参加形態により、つき合う仲間関係の枠が広げられたためではないかと考えられる。

④グループ別にみた友人との交流の内容

中学生をグループ別にみると、積極推進派では「信頼できる人は誰かわかる」「仲間との連帯感が得られるのがよい」の比率が高くなっている。

フォロアーでは「日常より親密につき合えるのがよい」「人のエゴがよくわかる」「自分と気が合う人と合わない人がよくわかる」で比率が高くなっている。普段の交流より深いつき合いがなされているからではないかと思われる。

冷静派は積極推進派と同じ傾向を示し、「信頼」や「連帯感」の値が高くなっている。中間派と消極逃避派では「普段のつき合いとあまり変わらない」が他のグループと比べると増えている。また、若干ではあるが「普段思っている意見や悩みを話すことができるのがよい」が増えている。

しかし全体的にみると、普段より親密な交流がもててはいるが「普段思っている意見や悩みを話すことができる」を選択する生徒が少なく、やや希薄な交流にとどまっているとも感じられる。

高校では、フォロアーにおいて「普段のつき合いと変わらない」と「日常より親密につき合えるのがよい」の比率が高く、2極に別れている。

冷静派では、「いろいろな人」「連帯感」「信頼できる人」で高い値が示され、積極推進派と同じ

傾向を示している。

消極逃避派では「エゴ」「相性」の比率が高くなっており、どちらかというと言のマイナスマ面を強く感じているとも受け取れる。

図. 15 文化祭での友人関係について

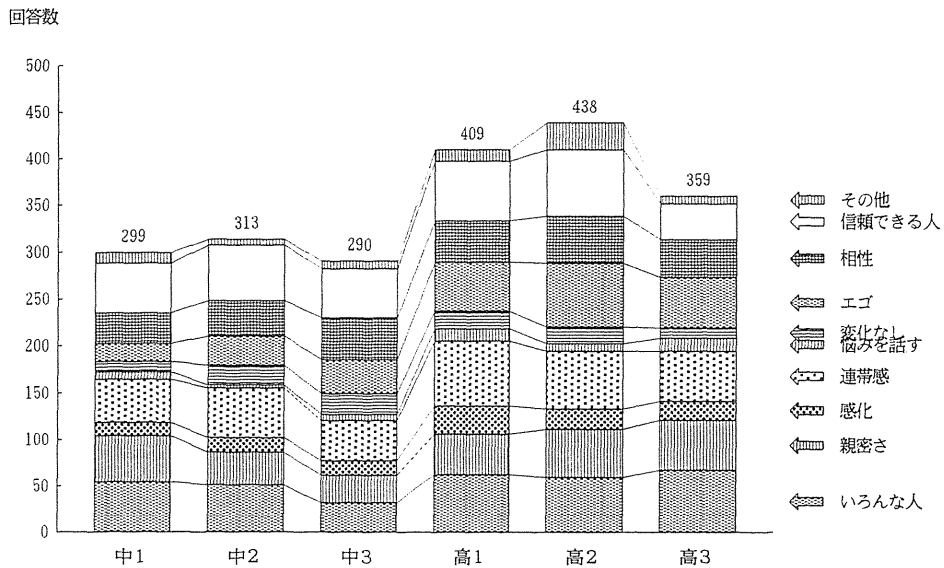


図. 16 グループ別にみた文化祭での友人関係 (中学)

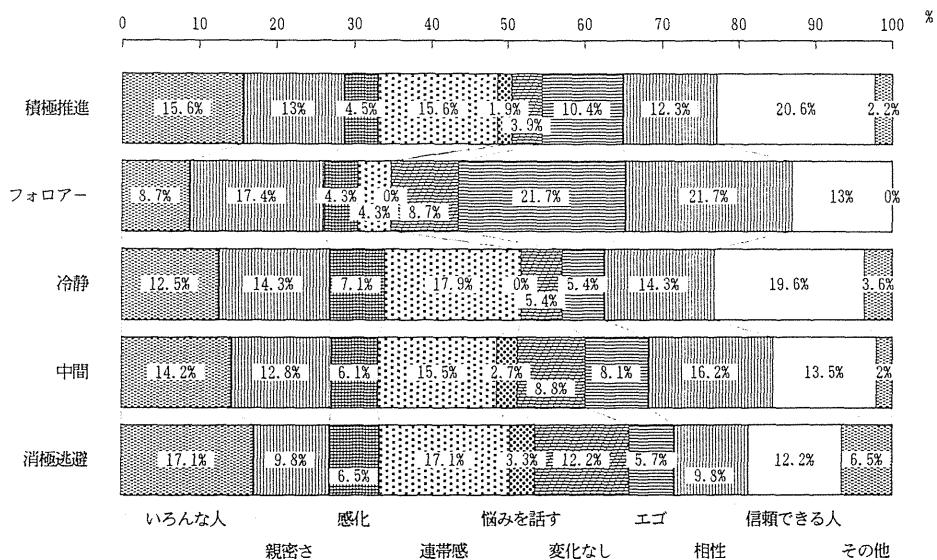
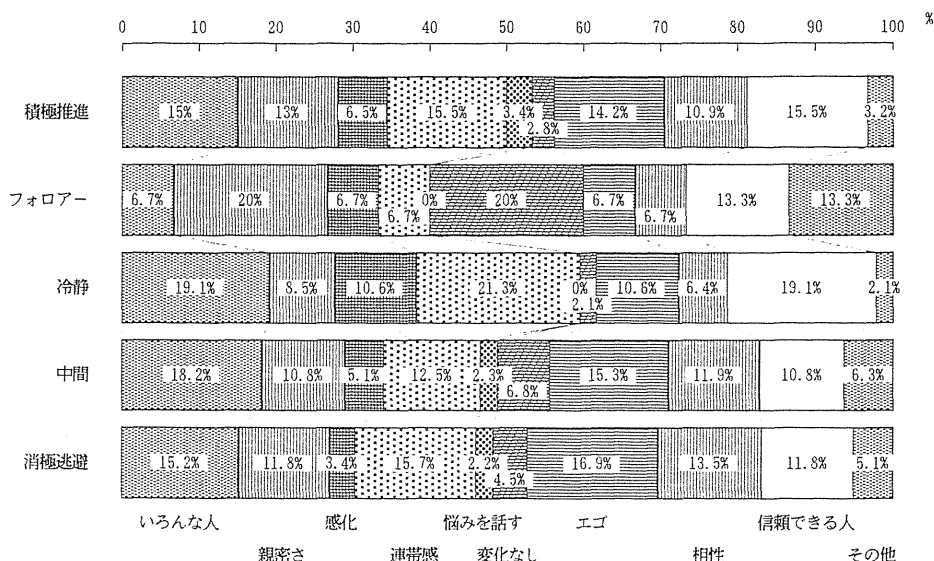


図. 17 グループ別にみた文化祭での友人関係（高校）



(4) 学校文化と人格の形成

学校文化は学校行事に色濃く影響している。とくに文化祭というどちらかというと生徒が主体となって進められていく行事ではなおさら影響が大きくなる。しかしながら学校文化は簡単には明示され得ないものであり、個々の生徒にとっての解釈もまた様々である。

ここでは本校でしばしば使われる「自由闊達」という言葉を用いて学校文化と文化祭の関係を考えてみた。

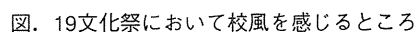
全体からみると、「文化祭は学校の校風(いわゆる自由闊達など)を学ぼうと役立っていると思いますか」という質問で、「そう思う」「少し思う」とする生徒が各学年とも多く、70%以上の生徒が文化祭において校風を学びとっているといえる。特に中学1年と高校1年ではその傾向が強くでている。

それでは次に、学校の校風をどのようなところで感じるのかを質問した。これは「文化祭は学校の校風を学ぼうと役立っていると思いますか」という質問に「思う」と答えた生徒を対象にして、以下の項目から2つを選択させた。1 - 「企画に自分たちの意見が反映される」、2 - 「みんなで話し合いながら進めることができる」、3 - 「教師が生徒の自主性を尊重してくれるところ」、4 - 「学校での規則があまりないところ」、5 - 「時間にゆとりがあるところ」、6 - 「企画内容のレベルが高いところ」、7 - 「その他」

結果では、中高ともに「企画に自分たちの意見が反映される」が高く、次に高い値を示したのは、「みんなで話し合いながら進めるところ」「教師が生徒の自主性を尊重してくれるところ」となっている。

自由闊達という言葉に込められた学校文化は、文化祭などの学校行事の度に生徒は感じ取り、

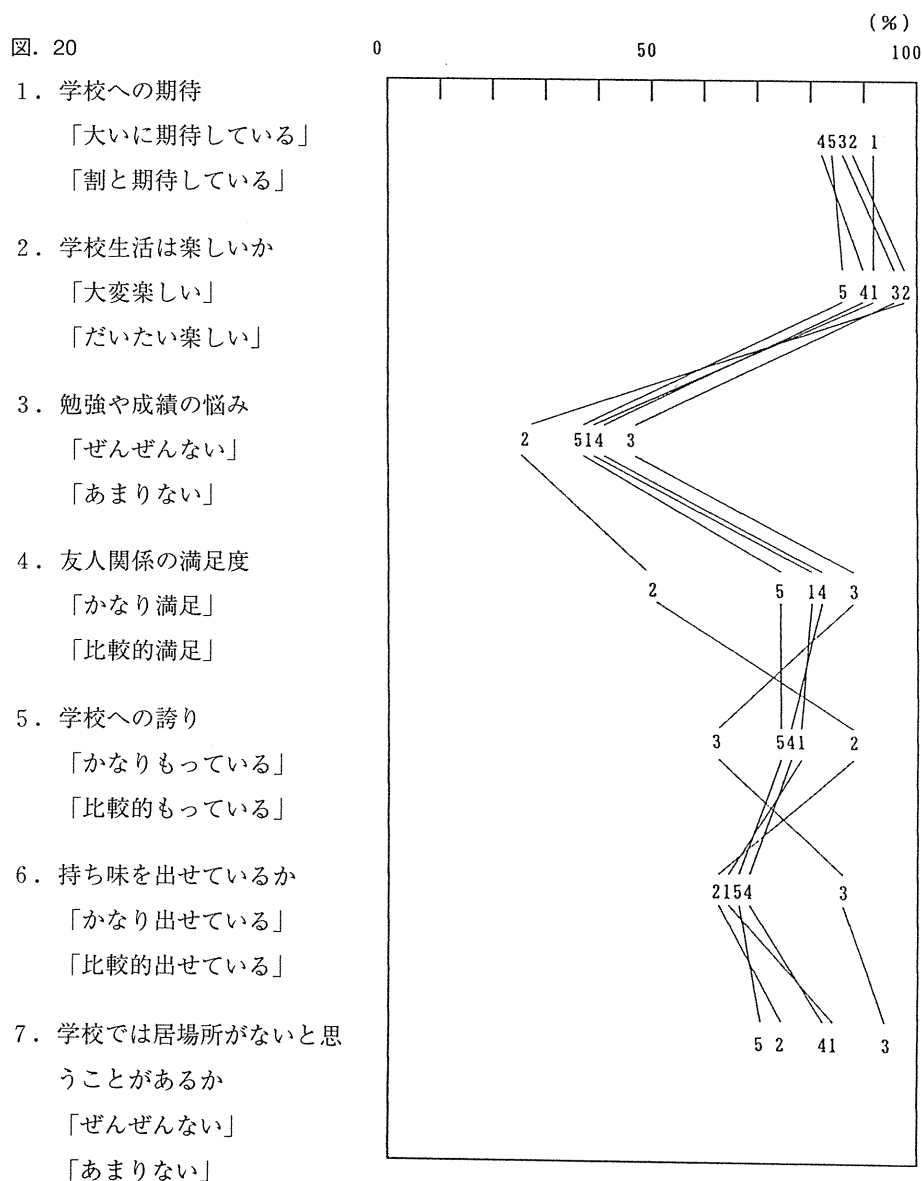
図.18学校文化と文化祭



第5章 類型化したグループの特性

(1) 学校生活について (中学生)

類型化したグループの特性がどのような内容になっているのかを調査した。各質問項目で、肯定する項目を選択した生徒の割合の合計をプロットした。図の中の1～5は、各グループの番号を表している。1－積極推進派、2－フォロアー、3－冷静派、4－中間派、5－消極逃避派を示している。



(2) 現在や将来に対する考え (中学生)

各項目で、「とてもそう」「わりとそう」を選択した生徒の、グループ内での割合。

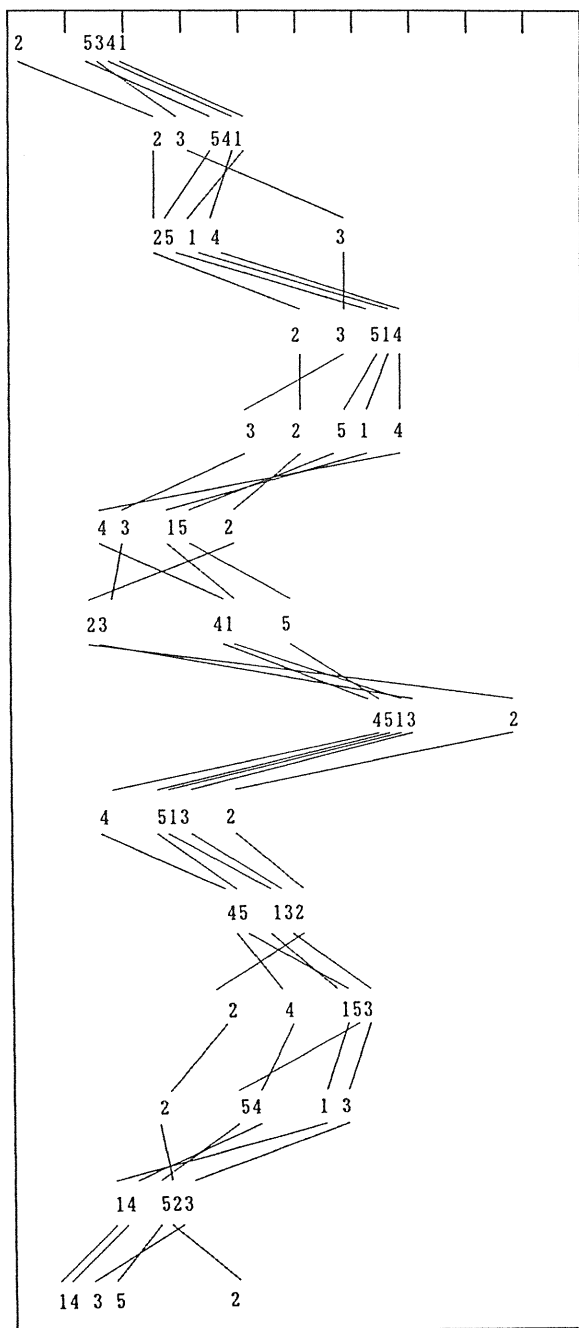
図. 21

(%) 0

50

100

1. よく勉強する
2. ねばり強く、1つのことに集中できる。
3. 目標を立てて生きている
4. 母親との関係はうまくいっている
5. 父親との関係はうまくいっている
6. 親や教師によく干渉される
7. 子どもっぽいところがある
8. いろいろなことに、自分なりの考えをもっている
9. 仲間から信頼されていると思う
10. 自分の存在が認められていると思う
11. 将来、やりたいことがある
12. 充実した生活を送っている
13. 先生に反抗したくなる
14. 授業が難しくついていけない

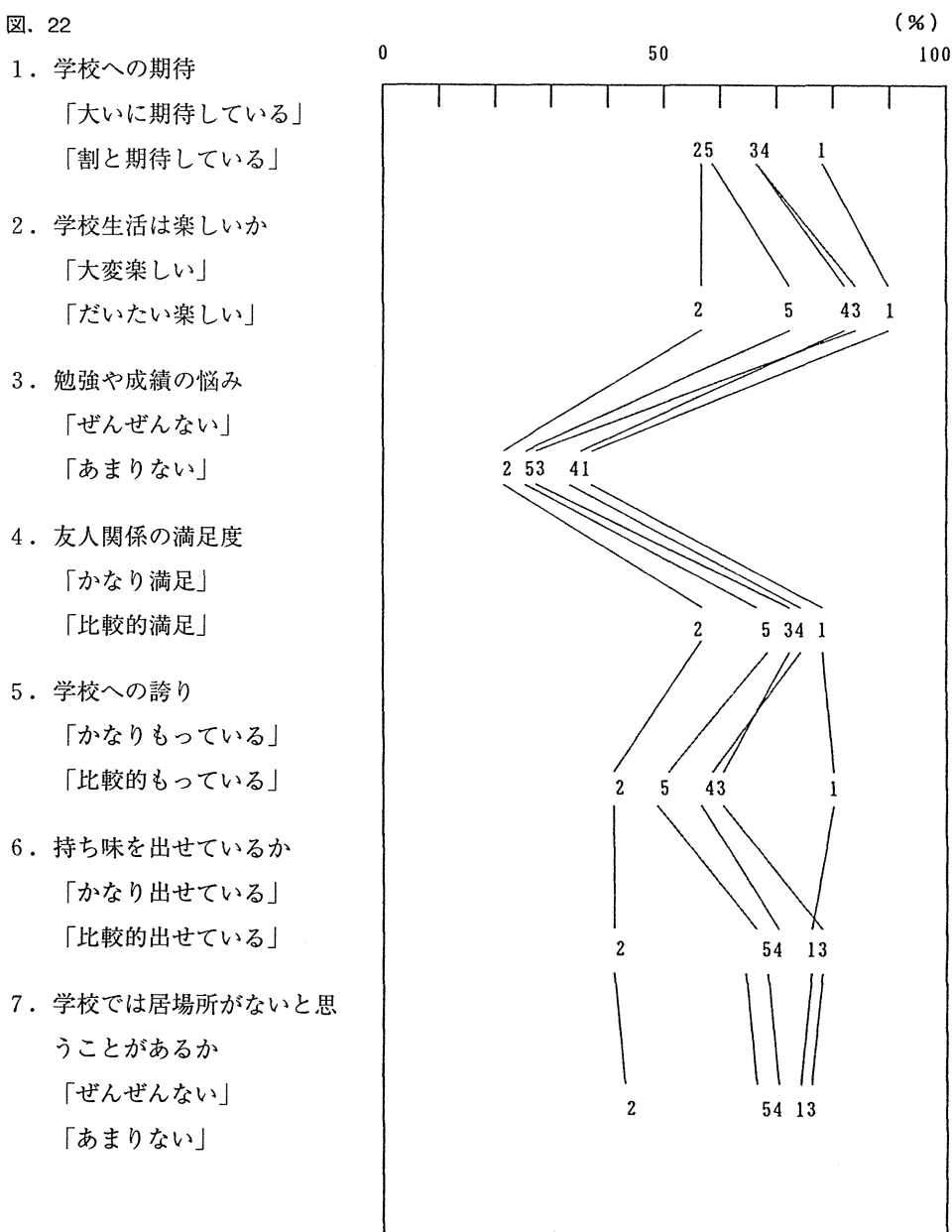


(3) 学校生活について (高校生)

類型化したグループの特性がどのような内容になっているのかを調査した。

各質問項目で、肯定する項目を選択した生徒の割合の合計をプロットした。図の中の1～5は、各グループの番号を表している。1－積極推進派、2－フォロアー、3－冷静派、4－中間派、5－消極逃避派を示している。

図. 22



(2) 現在や将来に対する考え (高校生)

各項目で、「とてもそう」「わりとそう」を選択した生徒の、グループ内での割合。

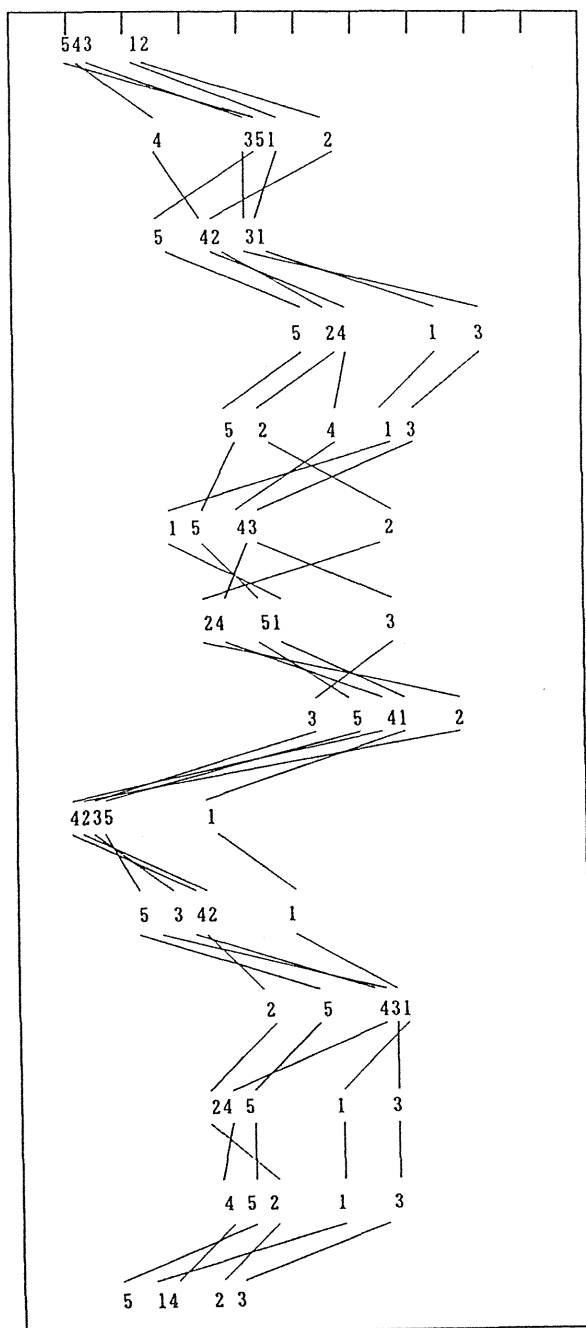
図. 23

(%) 0

50

100

1. よく勉強する
2. ねばり強く、1つのことに集中できる。
3. 目標を立てて生きている
4. 母親との関係はうまくいっている
5. 父親との関係はうまくいっている
6. 親や教師によく干渉される
7. 子どもっぽいところがある
8. いろいろなことに、自分なりの考えをもっている
9. 仲間から信頼されていると思う
10. 自分の存在が認められていると思う
11. 将来、やりたいことがある
12. 充実した生活を送っている
13. 先生に反抗したくなる
14. 授業が難しくついていけない



類型化したグループの特性

ここでは、それぞれのグループの特性を大きく「学校生活の様子」と個人の「考え方や性格」などに焦点を当てて検討した。そのため、各質問項目において肯定的な選択肢を選んだ生徒のグループ内での割合をそのグループの特性としてとらえ、図にプロットしていった。

中学では、2-フォロアーと3-冷静派に特徴的な動きがみられる。フォロアーは他のグループに比べ、「勉強や成績についての悩み」は高く、しかも「友人関係」にも満足していないことが現れている。しかし、「学校への誇り」は高く持っていることがわかる。

このグループが現状に対して満足していないことは、「現在や将来に対する考え方」でも現れている。「充実した生活を送っている」や「授業が難しくついていけない」という項目で他のグループより高い値が示されている。

一方、冷静派は「勉強や成績の悩み」「友人関係の満足度」「持ち味を出せている」「学校での居場所」で他のグループに比べ高い値が示されている。おそらく自分に自信があるグループではないかと思われる。そのため「学校への誇り」の項目では最も低い値が現れている。

「現在や将来に対する考え方」の方では、「目標を立てて生きている」「将来やりたいことがある」「充実した生活を送っている」などの質問で高い値が示されている。

高校では、2のフォロアーは「学校生活」においてすべての項目で最も低い値を示している。特に他のグループと比較して低い値が示されている項目は、「学校生活は楽しいか」「友人関係の満足度」「学校への誇り」「持ち味を出せているか」「学校での居場所がないと思うか」である。これらの項目をつなげてみると、学校生活はそれほど楽しくなく、友人関係でもうまくいっておらず、学校への誇りもなく、どうも学校では自分の居場所があまりない、ということになる。中学の場合のフォロアーは、まだ「学校への誇り」という項目で高い値が示されていたが、高校のフォロアーでは他のグループと比べもっと低い値になっている。

しかし、「現在や将来に対する考え」の各質問においては、フォロアーグループの上記のような悲観的な見方はそれほど目立って浮かび上がってきていない。例えば、「仲間から信頼されていると思う」「自分の存在が認められていると思う」において他のグループと比較しても、あまり変わらない値が示されている。

文化祭についてのアンケート

以下の質問は、文化祭について皆さんがどのような考え方を持っているのかを調べるためのものです。思っていることを素直に書いて下さい。

質問 1. あなたは、HR 以外に特参として文化祭に参加しましたか。

- [1] 参加した [2] 参加していない

質問 2. あなたは、クラスの活動においてどのような役割をはたしていましたか。

- [1] 中心的存在 [2] 一緒に企画を進めている存在 [3] 与えられた仕事はこなす存在
[4] 仕事から逃げ回っている存在 [5] まったく文化祭にはかかわっていない存在

質問 3. あなたは、文化祭行事（HR の場合）にどのように参加していましたか。

- [1] 積極的に参加していた [2] まあまあ積極的に参加していた [3] ふつう
[4] どちらかというと消極的な参加 [5] まったく消極的な参加

質問 4. 質問 2 と質問 3 の選択から 5 つのパターンに分けます。あなたはどのパターンになるのか選んで、そのパターン番号を書いて下さい。

あなたが質問 2 で選んだ選択肢	あなたが質問 3 で選んだ選択肢	パターン番号
[1] [2] [3] のどれか	[1] [2] のどれか	[1] をマークする
[4] [5] のどれか	[1] [2] [3] のどれか	[2] をマークする
[1] [2] のどれか	[3] [4] [5] のどれか	[3] をマークする
[3] [4] [5] のどれか	[4] [5] のどれか	[4] をマークする
[3] を選択	[3] を選択	[5] をマークする

質問 5. 質問 3. で [1] [2] と答えた人に質問します。そのような行動をとるのはなぜですか。以下の項目から 2 つ選んで下さい。

- [1] おもしろいから
- [2] 価値があると思うから
- [3] 作っていくときの喜びや充実感が得られるから
- [4] うまくいったときの成功感が得られるから
- [5] 友人との交流が楽しいから
- [6] 普段の学校生活とは違う非日常的な体験ができるから
- [7] 自分の能力が発揮できるから
- [8] 文化祭では普段と違う自分が出せるから
- [9] その他

質問 6. 質問 3. で [4] [5] と答えた人に質問します。そのような行動をとるのはなぜですか。以下の項目から 2 つ選んで下さい。

- [1] 内容がつまらないから
- [2] 価値がないと思うから
- [3] 疲れるだけだから
- [4] なんとなくやる気がしない
- [5] 自分の思い通りの事ができないから
- [6] 失敗ばかりしてきたから
- [7] 友人との交流がわずらわしい
- [8] 一緒に楽しめる仲間がいないから
- [9] 塾での勉強が遅れるから
- [10] その他

* 質問 7～質問 11 までは、特別参加団体として文化祭に参加した人のみ答えて下さい。

質問 7. あなたは、特参の活動においてどのような役割をはたしてしていましたか。

- [1] 中心的存在
- [2] 一緒に企画を進めている存在
- [3] 与えられた仕事はこなす存在
- [4] 仕事から逃げ回っている存在
- [5] まったく文化祭にはかかわっていない存在

質問 8. あなたは、文化祭行事（特参の場合）にどのように参加していましたか。

- [1] 積極的に参加している
- [2] まあまあ積極的に参加している
- [3] ふつう
- [4] どちらかというと消極的な参加
- [5] まったく消極的な参加

質問 9. 質問 7 と質問 8 の選択から 5 つのパターンに分けます。あなたはどのパターンになるのか選んで、そのパターン番号を書いて下さい。

あなたが質問7で選んだ選択肢	あなたが質問8で選んだ選択肢	パターン番号
[1] [2] [3] のどれか	[1] [2] のどれか	[1] をマークする
[4] [5] のどれか	[1] [2] [3] のどれか	[2] をマークする
[1] [2] のどれか	[3] [4] [5] のどれか	[3] をマークする
[3] [4] [5] のどれか	[4] [5] のどれか	[4] をマークする
[3] を選択	[3] を選択	[5] をマークする

質問10. 質問8.で [1] [2] と答えた人に質問します。そのような行動をとるのはなぜですか。

以下の項目から2つ選んで下さい。

- [1] おもしろいから
- [2] 価値があると思うから
- [3] 作っていくときの喜びや充実感が得られるから
- [4] うまくいったときの成功感が得られるから
- [5] 友人との交流が楽しいから
- [6] 普段の学校生活とは違う非日常的な体験ができるから
- [7] 自分の能力が発揮できるから
- [8] 文化祭では普段と違う自分が出せるから
- [9] その他

質問11. 質問8.で [4] [5] と答えた人に質問します。そのような行動をとるのはなぜですか。

以下の項目から2つ選んで下さい。

- [1] 内容がつまらないから
- [2] 価値がないと思うから
- [3] 疲れるだけだから
- [4] なんとなくやる気がしない
- [5] 自分の思い通りの事ができないから
- [6] 失敗ばかりしてきたから
- [7] 友人との交流がわずらわしい
- [8] 一緒に楽しめる仲間がいないから
- [9] 塾での勉強が遅れるから
- [10] その他

質問12. あなたは今回の文化祭に満足しましたか。

- [1] とても満足した [2] わりと満足した [3] どちらともいえない
[4] やや不満 [5] かなり不満である

質問13. 質問12で [1] [2] と答えた人に質問です。それはどのような点ですか。

以下より該当するものすべてを選んで下さい。

- [1] 仲間と協力して仕事をする事ができたこと [2] 自分の持ち味が出せたこと
[3] 自分の好きな事ができたこと [4] 仲間との交流が深まったこと
[5] 仲間から信頼を得られたと思うこと
[6] クラスのまとまりを感じる事ができたこと (高校3年は班または学年)
[7] 他の学年やクラスの取り組みが見みれたこと
[8] 先輩や後輩と一緒に活動ができたこと
[9] 学校の自由な雰囲気が感じ取れたこと
[10] その他

質問14. 質問12で [4] [5] と答えた人に質問です。それはどのような点ですか。

以下より該当するものすべてを選んで下さい。

- [1] 自分の好きな事ができなかった [2] 自分の能力があまり発揮できなかった
[3] 仲間との関係がうまくいかなかった [4] 信頼できる仲間が少なかった
[5] クラスのみんながまとまらなかった (高校3年生は班または学年)
[6] いやな仕事を押しつけられたから
[7] どのデコも内容がつまらなかったから
[8] 準備に時間と労力がかかって疲れたから
[9] 最初からやりたくなかったから
[10] その他

質問15. 本校の学校行事のなかに文化祭はあったほうがよいと思いますか。

- [1] とても必要 [2] わりと必要
[3] やや必要でない [4] まったく必要ない

質問16. あなたにとって文化祭は他の学校行事と比べどれくらいの意味がありますか。他の学校行事と比べて文化祭が何位になるか答えて下さい。

(学校行事5種類のうちで：校外指導，音楽祭，体育祭，文化祭，ロードレース)

- [1] 1位 [2] 2位 [3] 3位 [4] 4位 [5] 5位

質問17. あなたは、文化祭行事に参加するなかで自分の人格形成のうえで役立ったことがありますか。

- [1] おおいにある [2] 少しはある
- [3] あまりない [4] ぜんぜんない

質問18. 質問17. で [1] [2] と答えた人に質問します。それはどのようなことでしょうか。特に感じることをすべて選んでください。

- [1] 計画性 [2] 説得力 [3] 企画力
- [4] 創造力 [5] 忍耐力 [6] 責任感
- [7] 人をまとめていくこと [8] やり抜く力 [9] 人の意見を聞くこと
- [10] その他

質問19. あなたは、普段から本音でつき合える友人（本校での）をもっていますか。

- [1] もっている [2] 少しはいる
- [5] あまりいない [4] ぜんぜんいない

質問20. 文化祭は、友人をよく知るよい機会と思いますか。

- [1] そう思う [2] 少し思う
- [3] あまり思わない [4] ぜんぜん思わない

質問21. 文化祭での友人関係について特に感じることは何ですか。以下の項目からすべて選んで下さい。

- [1] いろんな人とつき合えるのがよい
- [2] 日常より親密につき合えるのがよい
- [3] 仲間での話し合いで感化されることが多い
- [4] 仲間との連帯感が得られるのがよい
- [5] 普段思っている意見や悩みを話すことができるのがよい
- [6] 普段の付き合いとあまり変わらない
- [7] 人のエゴがよくわかる
- [8] 自分と気が合う人と会わない人がよくわかる
- [9] 信頼できる人が誰だかよくわかる
- [10] その他

質問22. 文化祭は学校の校風（いわゆる自由闊達など）を学ぶうえで役に立っていると思いますか。

- [1] そう思う [2] 少し思う
[3] あまり思わない [4] ぜんぜん思わない

質問23. 質問22. で [1] [2] と答えた人に質問します。それはどういうところですか。

以下の項目より 2 つ選んで下さい。

- [1] 企画に自分たちの意見が反映される
[2] みんなで話し合いながら進めるところ
[3] 教師が生徒の自主性を尊重してくれるところ
[4] 学校での規則が少ないところ
[5] 時間にゆとりがあるところ
[6] 企画内容のレベルが高いところ
[7] その他

質問24. あなたは、勉強や行事、クラブ活動や友人関係など学校での生活に期待するところが大きいですか。

- [1] 大いに期待している [2] わりと期待している
[3] あまり期待していない [4] ぜんぜん期待していない

質問25. あなたの学校生活は楽しいですか。

- [1] たいへん楽しい [2] だいたい楽しい
[3] あまり楽しくない [4] ぜんぜん楽しくない

質問26. あなたは、勉強や成績に関して悩むことがありますか。

- [1] ぜんぜんない [2] あまりない
[3] すこしある [4] かなりある

質問27. あなたは、友人関係に満足していますか。

- [1] かなり満足している [2] 比較的満足している
[3] すこし不満がある [4] かなり不満がある

質問28. この学校の生徒であることに誇りを持っていますか

- [1] かなりもっている [2] 比較的もっている

[3] あまりもっていない [4] ぜんぜんもっていない

質問29. あなたは学校で自分の持ち味が出せていると思いますか。

[1] かなり出せている [2] 比較的出せている
[3] あまり出せていない [4] ぜんぜん出せていない

質問30. あなたはこの学校では居場所がないと思うことがありますか。

[1] ぜんぜんない [2] あまりない
[3] ときどきある [4] よくある

あなたの現在や将来についてお聞きします。

次のことは、現在のあなたにどのくらいあてはまりますか。一番近いものを選んで下さい。

	とてもそう	わりとそう	ややそう	あまりそうでない	まったくそうでない
質問31. よく勉強する。	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
質問32. ねばり強く、1つのことに 集中できる。	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
質問33. 目標を立てて生きている。	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
質問34. 母親との関係はうまく いっている。	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
質問35. 父親との関係はうまく いっている。	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
質問36. 親や先生によく干渉される。	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
質問37. 子どもっぽいところがある。	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
質問38. いろいろなことに、自分 なりの考え方を持っている。	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
質問39. 仲間から信頼されていると思う	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
質問40. 自分の存在が認められている と思う。	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
質問41. 将来、やりたいことがある。	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
質問42. 充実した生活を送っている。	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
質問43. 先生に反抗したくなる。	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
質問44. 授業が難しくついていけない。	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]

質問45. あなたは現在、部活動に参加していますか。次の中から1つだけ選んで○をつけて下さい。

(高校3年生は、現役のころの様子を書いて下さい)

- [1] 運動部に入り、熱心に参加している。
- [2] 運動部に入っているが、あまり熱心ではない。
- [3] 文化部に入り、熱心に参加している。
- [4] 文化部に入っているが、あまり熱心ではない。
- [5] 以前は参加していたが、現在は参加していない。
- [6] 参加したことはない。

質問46. あなたは、塾や予備校に何日くらい通っていますか。

- [1] 週1回 [2] 週2回 [3] 週3回 [4] 週4回 [5] 週5回
- [6] 週6回 [7] 週7回 [8] いっていない

質問47. 塾や予備校にいている人で、文化祭期間中(準備期間を含めて)の通塾をどのようにしていましたか。

- [1] 普段と変わらず通塾していた [2] 少し通塾の回数を制限していた
- [3] かなり通塾の回数を制限していた [4] まったく通塾していなかった

ご協力ありがとうございました。